

教科名	科目名	単位数	年・組
社会	地理的分野	4	中学1年1組～3組

使用教科書	副教材
新しい社会 地理(東京書籍) 中学校社会科地図(帝国書院)	地理の資料(正進社) 中学実力練成テキスト 社会地理(文理)

1. 学習の目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
地理的事象に対する関心を深め、それを意欲的に追究し、広い視野に立って我が国の国土の特色について認識を養おうとする。	地理的事象から、課題を見いだし、日本や世界の地域的特色を地域の規模に応じて環境条件や人々の営みなどと関連づけて多面的・多角的に考察し、公正に判断する。	地図や統計、映像など地域に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して活用するとともに、追究し考察した過程や結果を地図化したり、報告書などにまとめたり、発表や討論などを行ったりする。	世界と日本の地域構成、地域の規模に応じてとらえた地域的特色、世界と比べてみた日本の地域的特色などを理解し、その知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第1編 世界のさまざまな地域 第1章 世界のすがた	<ul style="list-style-type: none"> 世界を地理的に認識するための座標軸として、地球儀や地図を活用して大陸と海洋の形状や分布を取り上げ、地球規模での位置関係をとらえるための技能と知識を身につけさせる。 地球儀を活用して生活舞台としての地球に対する興味・関心を高めて、緯度と経度による地球上の位置の表し方を身につけさせる。 緯度や経度の違いが、私たちの生活にどのように影響するのか、気温の変化や時差をふまえて大観させる。 地球儀や世界地図の長短をふまえて、それらを適切に活用する方法を身につけさせる。 	授業態度 授業ノート提出 課題提出 小テストの成績 定期試験の成績
	5	第2章 世界各地の人々の生活と環境	<ul style="list-style-type: none"> 世界の地域区分、国々の名称と位置など地名や地図への関心を高めさせる。 現代の世界は、州や大陸およびそれらをいくつかに分けた地域でとらえられていることや、さまざまな国々から構成されていることを理解させる。 主な国々の名称と位置を、様々な手法や地図を用いて身につけさせる。 国境の意味、国名の由来、大きい国と小さい国、遠い国、海洋国と内陸国などの視点から世界の国々を大観させる。 世界の略地図の描き方を身につけさせ、世界の地域構成の基本的な枠組みをとらえさせる。 	
	6	第3章 世界の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> 世界の地域的特色を明らかにする諸活動に、意欲を持って取り組ませる。 	
2	7		<ul style="list-style-type: none"> 世界の地域的特色を多面的・多角的に検討させるとともに、大観化してとらえ、適切に表現する仕方などを考えさせる。 	授業態度 授業ノート提出 課題提出 小テストの成績 定期試験の成績
	9	第4章 世界のさまざまな地域の調査	<ul style="list-style-type: none"> 諸資料を有機的に関連づけたり、諸要素を適切に取捨選択したりして、地域的特色を大観化、概略化してとらえる技能を身につけさせる。 	

3	10	第2編 日本のさまざまな地域 第1章 日本のすがた	<ul style="list-style-type: none"> 日本の国土の位置および領域の特色と変化を世界的な視野から多面的・多角的に考察し、日本の現状を位置と領域の面から大観させていく。 都道府県の名称の由来や成り立ちについて調べる活動を通して、地名や地図への関心を高めさせる。 都道府県の名称と位置を地図上で確実に身につけ、日本の地域構成の基本的な枠組み（地域区分）をとらえる活動に意欲を持って取り組ませる。 	授業態度 授業ノート提出 課題提出 小テストの成績 定期試験の成績
	11	第2章 世界から見た日本のすがた	<ul style="list-style-type: none"> 世界と日本の人口について、世界的視野から日本を一つの地域として見た日本の地域的特色と、日本全体の視野から見た国内の諸地域の特徴をとられる活動を通して、わが国の国土の特色を人口の面から大観させる。 世界の人口分布や人口増加には大きな地域的偏りがあり、人口増加が著しい国々について人口増加の原因を理解するとともに、どのような対策がとられているか考えさせる。 日本の資源・産業について、世界的視野から日本を一つの地域として見た日本の地域的特色と、日本全体の視野から見た国内の諸地域の特徴をとらえる活動を通して、わが国の国土の特色を資源・産業の面から大観させる。 エネルギー資源の移動や消費などを題材にして、その類似性や共通性から世界の国々の特色を明らかにする調べ方や学び方を身に付けさせる。 	
	12		<ul style="list-style-type: none"> 日本の資源・産業について、世界的視野から日本を一つの地域として見た日本の地域的特色と、日本全体の視野から見た国内の諸地域の特徴をとらえる活動を通して、わが国の国土の特色を資源・産業の面から大観させる。 エネルギー資源の移動や消費などを題材にして、その類似性や共通性から世界の国々の特色を明らかにする調べ方や学び方を身に付けさせる。 	
	1	第3章 日本の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> 日本の自然環境について、世界的な視野から日本を一つの地域として見た日本の地域的特色と、日本の視野から見た国内の諸地域の特徴をとらえる活動を通して、わが国の国土の特色を自然環境の面から大観させる。 地形や気候が人々の生活や生産活動と関わっていることを学ぶことを通して、自然環境の基本的要素として地形と気候を取り上げる意味を理解させる。 自然環境は資源であるとともに災害を生じさせる二面性を持っていることを理解させる。 日本の人々の生活や文化について、世界的視野から日本を一つの地域としてみた地域的特色と、日本全体の視野から見た国内の諸地域の特徴をとらえる活動を通して、わが国の国土の特色を生活と文化の面から大観させる。 	
	2	第4章 身近な地域の調査	<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域の地域的特色をとらえる視点や地域調査の方法を理解させるとともに、地域的特色をとらえるようにさせる。 身近な地域の特色を学習し考察した過程やその結果が理解できるように、地図や統計資料を活用した地理的なまとめ方や表現の方法などを理解させ、その知識を身につけさせる。 自分の暮らす都道府県について、身近な地域の調査の学習成果を生かしながら、統計資料の収集・分析、調査活動によって、県の地域的特色を多面的に理解させる。 	
	3		<ul style="list-style-type: none"> その他の都道府県について、テーマを設定して学習する学習方法や比較や結びつきを明らかにする方法によって、各都道府県の特徴を理解させるとともに、その方法を習得させる。 統計資料の収集や分析、調査結果の表現などの諸能力を育む。 多面的な視点から学習する、テーマを学習する、比較や関連の視点から学習する、といった様々な学習方法を体験させ、国の特色をとらえる視点とその方法を習得させる。 統計資料の分析、地図や写真の読み取りや比較・関連づけ、調査結果の表現などの諸能力を育む。 調査した国への関心をその他の国への関心へと継続させ、国家規模の地域的特色をとらえようとする意欲を持たせる。 	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。